

東東寺残日録

坪井 幹之

宮之浦岳と縄文杉へ

「山の会」四月例会の「屋久島の旅」に参加した。その概要と感想を述べてみよう。

四月十三日

朝七時、高知空港に集合したが、搭乗予定機が計器不調で遅延。伊丹発鹿児島着の便が昼過ぎとなり、屋久島到着が夕方となる。その夜、ホテルで結団式。参加者十五名、旅行社より原沢氏が同行。

四月十四日

念願の宮之浦岳登頂の日である。屋久島は「雨の島」と綿名されているように、雨の多い所。原作林美美子の映画「浮雲」に出てくる「一カ月三十五日雨が降る」と言う言葉が人口に膾炙されている。当日は早朝四時に起床。見上げる空は満天の星、「しめた」と思った。ホテルから車で登った登山口で朝食の弁当を食べ、往復十二時間と言われる山行にかかる。三班に分かれそれぞれにガイドがつく。最初から厳しい登りが続いた。自然林の中の道は、到る所木の根が露出、木道と木造りの階段が連続。結局、一班の八名のみが山頂に向かうことになった。宮之浦岳は日本百名山の一つで、標高一九三六米。往古より「岳参り」として登られている信仰の山。途中の花之江の名称を持つ湿原でヤクシカをみかけた。そのあたりから奥岳と綿名される区域に入る。原生林と花崗岩の大石、笹原と変化に富んだ山岳風景には魅せられた。数時間の難行、苦行の末、正午前に頂上に立つ。好天に恵まれて島全体は勿論、東隣りに浮かぶ種子島の眺望も楽しむことができた。味噌汁ときの屋敷の後、また来た道を下る。長い道程に疲れ果て、やっと思いで登山口へ。迎えの車でホテルへ帰りつく。夕食時に各人より山行の報告あり。みなさん、それぞれのコースに満足した様子。私自身にとつては、これで九州地区の百名山六座をすべて登りえたことになる。



四月十五日

この日は島の象徴「縄文杉」を訪れる日程。天気は昨日に続いて上々。早朝車で前岳を登り、駐車場から十一軒の森林鉄道の軌道を進む。このあたりは小杉谷と呼ばれ、曾ては菅林業の中心地であったところ。途中、植生の説明あり。島は亜寒帯から亜熱帯に及んでいるので、生物の宝庫である。世界遺産に指定された所にもこの気象上の特徴にあるようである。トロッコ・ロードの終点より屋久杉の宝庫大株歩道を辿る。ウイルソン株、夫婦杉、大王杉等の巨木に出会う。これらは屋久杉と言われ、木々の樹齢は千年を超えており、島内には三、三千本が残っているとのこと。やっとお目当ての「縄文杉」に到達。一説では樹齢七千年を超すと云う。とにかく抜群の巨木であることは間違いない。記念写真を撮って昼食。急いで下山。森林鉄道は枕木の間隔と歩幅のずれでスムーズに歩けない。遠い昔、石鎚山系で土小屋から池川まで歩いた経験を思いだしながら、老骨に鞭打って頑張った。



21世紀の進路と示す憲法

憲法前文・9条、教育基本法の総学習

250名参加・高退協17名

憲法施行57年の5月3日、高知城ホールで、「憲法改悪に反対する53県民のつどい」が開かれた。文化行事として、センター合唱団が「新しい憲法の話し」を合唱し開会した。

東大名誉教授、堀尾輝久さんが「日本の進路と憲法」と題して話された。今、解釈改憲ではダメな時期に来て、明文改憲の動きが活発で、日本を帝国主義国家に向かわせている。私たちは日本をどういう21世紀にしたいのか、改正の目的を語るう、一人一人が考えよう。45年に始まった「地球時代」未来社会をどうつ

四月十六日

島の観光コースを廻る。中身の紹介は、紙数の関係もあつて省略。島の南半分は海岸線を観光バスで例の調子で廻った。ただ、夕食には安房川畔の料亭で、とりたての魚を賞味したことだけは記録に残しておこう。

四月十七日

屋久島空港の途中で「環境文化センター」に立ち寄った。ここで観賞した大型映像は圧巻で、島全体の総括となった。さらば！「世界遺産・神々の島」。帰りの航空便は予定通りの運行で、この素晴らしい旅は無事終了。

第75回

メーデー

高知市丸の内緑地公園で開かれた高知県中央メーデーに、4月29日、7名で作ったプラカードをもつて、31名の高退協も参加しました。プラカード展は、昨年より順位をあげ、2位になり、中岡顧問・小沢さんに感謝しながら、高教組や労働者の仲間と交流を深めました。

川谷さん記念講演行

「憲法と自由民権運動」

4月25日午後、自由民権記念館友の会の定例総会が開かれ、総会終了後「憲法と自由民権運動」と題して一時間半、川谷仁さんが記念講演を行いました。川谷さんは八枚の資料が使われて明確で分かり易い話をされました。講演の概要は次の通りです。終戦後、憲法改正問題が発生した。当時の日本政府が作成した憲法案は、明治憲法を一部改正するもので、GHQの受け入れられない内容であった。進歩党や自由党の憲法案も天皇制維持、臣民の権利義務と、明治憲法と同趣旨のものであった。そこで、マッカーサーの指令によりGHQで憲法案作成作業が行われて、マ司令に案が提出された。この憲法改正案は鈴木安蔵氏らによる憲法研究会が発表した案を取り入れたものであった。更に、この憲法改正案は、明治の自由民権運動の中で作成された憲法案を参考にしたものであった。従って、日本国憲法は形式的にはGHQの憲法案を、内容的には日本人の作成した憲法案を採用したものと云える。



現在進行している憲法改正の動きには二つの流れがある。一つは新自由主義に基づく流れ、もう一つは、ネオ・ナショナリズムに基づく流れである。憲法九条だけの改正は国民の支持が得にくいいため、全面改憲の方向がとられている。護憲側の的確な運動が望まれていると考える。

(文責 岡崎)

訃報

4月7日池本良幸さんが死去されました。謹んで冥福をお祈りします。

個人情報

佐伯良夫さんが日赤病院に入院治療中、4月9日お見舞いしました。

短歌

山原さん

山本晶子  
山原さん  
山原さん

買物に急げる道の辺山原さんが  
演説してをり釘付けになる  
筆まめの人なりしかな酒の座に  
急ぎ文書き安堵してのむ  
葬儀とよ悲しきものに潜まれる  
感動あため帰りに行く道  
山原先生に捧ぐ

依光貫之

今日よりは君いままさぬと仰ぐ目に  
南国の陽もかきういて見ゆ  
獅子吼せし姿を胸にまぼろしの  
巷に立てば春なお寒し  
民おもい平和をおもう菩薩行  
し終えていまは安けくあらむ  
民権の炎を継ぎて駆けぬけし  
君が一生ぞ尊かりける  
腰折れながら 悼む心を共に  
したいと思ひます。

4・15年金改悪阻止  
止全国統一行動  
INしりとり(4/15)

4/15全国統一行動には全国で  
100万人が決起、高知県でも早朝  
宣伝行動、ひろめ市場前のイベ  
ント、決起集会の取り組みまし  
た。高知市で取り組まれた、早  
朝宣伝行動(プラスタ)は、県庁  
前、はりまや橋、高知駅前で行  
われ、高退協からは4/12、4/15ま  
での連日、2名ずつが、はりまや  
橋交差点(四銀本店前)に参加し  
ました。  
午後6時、高知市役所前で「年金  
改悪阻止!高知県決起集会」が  
行われ、300人(高退協からも多  
く)が参加しました。「年金改悪  
二〇〇四年度  
高教組執行委員名簿

役職	氏名
執行委員長	橋元 陽一
執行委員	小松 茂弘
執行委員	池上 圓
書記長	谷村 寿哉
執行委員	吉岡 太史
執行委員	田中 敏夫

古いノートから III  
昭和五十七年尾瀬行の歌抄(三首)  
榊原忠彦

尾瀬沼にいたれば寒し嵐と  
湖沼風いたみ水芭蕉見つ  
山小舎の朝の目さめを過ぎゆきし  
あまつゆの音からまつの風  
歩を停めて日光きすげ吾亦紅  
ここだけの花を貰つる木道

鋭き刃

〇四年四月イラク、そして日本  
ウラン弾廃絶へ熱き決意秘め  
十八歳のまつすくの時よ  
遺体累累 女性子どもら老人ら  
グルニカに似しファルージャの嘆  
喉元に鋭き刃われらみな  
突きつけられて春は果てゆく

法案を必ず阻止!すること「イ  
ラクで拘束されている日本人の  
即時釈放と自衛隊の即時撤退」  
をもとめる集会決議を採択、中  
央公園まで「デモ行進を行いま  
した。なお、早朝宣伝の様子は各  
で放映され、全体のとりくみ  
は高知新聞16付朝刊に写真付  
きで報道されました。(小澤記)

高知高齢者運動連絡会  
年金問題学習会

04年5月14日  
14時10分~15時30分  
場所 高知生協病院

執行委員	味元 真紀
執行委員	朝比奈 貢
執行委員	古畑 邦明
執行委員	堀野あゆみ
執行委員	井上 稔雄
香長支部	倉橋 楠雄
高知市支部	大川法由記
高吾支部	松本留美子
高岡支部	上岡 橋平
幡多支部	胡摩崎ゆう子
特別執行委員	

俳句

3月27日(土)

南国市 国分寺  
土佐山田町 鏡野公園

合田 青幹  
透かし見る空より枝垂桜かな  
刃物打つ町の芽柳並木かな  
田所たねを  
田植機の音早乙女は昔かな  
満を持し咲かぬ桜も多かりし  
吉本 伸秋  
花散つて車の上を転げをり  
田植機の轍を柄振以て均し  
中内 英明  
どこか揺れどこか静もる糸桜  
ジーンズですたすた花の工科大  
中内みち代  
一門の句碑披かれし花の寺  
代田播く疎水の濁り野良忙し  
小笠原さちを  
時計塔下に 一樹の花の刻  
噂を追ふ噂の風に乗る

相撲ミニ知識(五十八)

林 勤

太鼓

大相撲には橋の音拍子木を打  
つ音と太鼓は欠かせない。十両力  
士土俵入りや幕内力士土俵入り、  
或いは横綱土俵入りなど、進行の  
節々には呼出しが拍子木を打ち、  
その橋の音で力士は花道を土俵に  
向う。館内の進行を告げる橋の音  
に対し、太鼓は外に向って大相撲  
気分を盛り上げる。

一、ふれ太鼓

興行の始まる前日に、この場所  
の安全と成功を祈って「土俵祭り」  
が行われる。そのあと、呼出し数  
人ずつが数組に分かれて太鼓を打  
ちながら土俵下を左回りに三遍回  
つてから市中に出て初日の取組を  
ふれて歩く。

相撲はみようにちが初日、

大ぜり合いじゃぞーえ、〇〇山に  
は△△川ぢやぞーい……  
数日来、国技館(地方場所では  
体育館など)周囲に立てられてい  
る力士織に加えて、このふれ太鼓  
と次に述べる寄せ太鼓で相撲気分  
が一気に盛り上がる。

活動日誌

【3月】

3月2日 「年金改悪阻止4・15  
全国行動in高知」打合  
せ会

8日 山原さん死去  
せ会

9日 定例事務局会

11日 山原さんの葬儀

22日 4・15集会打合せ会

24日 5・3憲法記念集会の  
打合せ会

30日 山原さん納骨式

【4月】

4月5日 全退教四国ブロック代  
表者会

6日 定例事務局会

7日 5・3集会打合せ会

10日 15日 4・15集会の  
早朝街宣行動

15日 4・15集会のみの市

17日 高退協総会・退職者を  
励ます会

20日 山原記念館準備作業

23日 ピースウェーブ実行  
委員会

26日 山原記念館準備作業  
日本共産党高校後援会

二、寄せ太鼓

相撲興行を人々に知らせる太鼓  
である。昔は、前相撲の取的が場  
所入りをする頃にたく一番太鼓  
と関取が場所入りをする頃にた  
く二番太鼓があった。

一番太鼓は夜中の一時、二時頃  
に打たれていたが、現在は騒音防  
止の観点から一番太鼓が八時半頃  
に打たれ、力士が続々と場所入り  
してくる。二番太鼓はなくなった。

三、はね太鼓

相撲が終わる、館内に橋の音が  
入ると、やぐらの上ではね太鼓が  
打たれる。はね太鼓には「本日は  
無事に終わりました。お気をつけ  
てお帰り下さい。また明日もおい  
で下さい。」という意味がこもって  
いる。従って、明日の興行がない  
「一日だけの興行と場所の千秋  
楽」には打たない。

この太鼓と同時に、観客が国技  
館(相撲場)を出てあちこちへ三々  
五々と帰ってゆく姿と、太鼓の音  
色―威勢のよいふれ太鼓や寄せ  
太鼓と違って、はね太鼓は低い音  
で小刻みに早く打たれる―とで  
「テンテンバラバラ、……」と聞  
こえる。